



進路だより

第5号 令和7年7月17日
宮城県立石巻支援学校
進路指導部

高等部では、前期の現場実習が終了し、卒業後の進路先の検討がいよいよ本格的になってまいりました。保護者の皆様には、本校の進路指導に日頃より御理解と御協力をいただきありがとうございます。

さて、進路だよりでは、各学部の進路指導に関する深い学習を紹介しています。進路指導との関連で、「発達段階における育てたい力」につきましては、「進路の手引き」を御覧ください。

小学部 「清掃活動」（4年：日常生活の指導）

小学部では、毎日給食後に食堂や教室の清掃を行っています。4年生では、ぬれ新聞をちぎって床に巻く、ほうきで掃く、ちり取りで集めてごみ箱に捨てる、といった一連の流れを、役割分担し、交代しながら取り組んでいます。掃き掃除が終わったら、みんなで雑巾掛けをして終了です。朝の運動の時間（ぽかぽかタイム）に取り組んでいる「こうま」の動作を生かして高ばいで雑巾掛けをしたり、掃除の時間になると進んでほうきやちり取りを準備したり、「自分から進んでできること」を生かしつつ、増やしています。



中学部 「松島へ泊まりに行こう」（2年：宿泊学習）

7月10日（木）～11日（金）、松島自然の家に宿泊し、校外での学習を行いました。

1日目は、松島湾を巡る観光船に乗りました。事前学習では、船内でのルールやマナーを学び、不安定な船内に乗り込む練習をしました。当日は屋根のない船尾に移動して風を感じながら松島の景色を楽しむ生徒もいました。昼食の後は、五大堂周辺を散策してから笹蒲鉾の手焼き体験です。網の上に蒲鉾を並べたら「5分待つ」ことがポイント。「おいしくなあれ。」と唱えながら焼き上がりを待ちました。自分で焼いた熱々蒲鉾はやはり格別！好みの焼き加減に仕上がった蒲鉾をおいしくいただきました。

2日目は、自然の家で貝と流木を使った制作活動をして無事に宿泊学習を終えました。



高等部 「前期現場実習報告会」（各学年：職業）

高等部では、3週間に渡って行われた前期実習を振り返り、6月18日に「報告会」を行いました。2、3年生は現場実習先からいただいた評価表を確認しながら、今後の課題などをまとめて発表しました。1年生も初めての校内実習の成果を発表しました。以下に数名の感想を紹介します。

「重さを量りながら、お惣菜のパック詰めが難しかったです。」「集中力が時々欠けるときがあったので、直していくたいです。」「コミュニケーションが大事だと思いました。」「陶芸班で、大きな皿を作れるようになりました。」

後期実習は10月です。1年生も現場実習に行きます。高等部みんなでがんばっていきたいと思います。



現場実習を終えて～実習先の方からのお話～

現場実習後、進路担当が実習先をまわり、評価や今後の課題を聞いてきました。今後の課題は、高等部だけでなく、小学部・中学部段階からの学習を積み重ねて少しづつ身に付けていきたい力です。



【生活介護】

○良い点

- ・休まずに通うことができた。
- ・安定した気持ちで落ち着いて過ごすことができた。
- ・担任がいなくても職員の声掛けに応じながら過ごせた。
- ・利用者と一緒に活動の場にいることができた。
- ・誰とでも積極的に関わろうとした。
- ・自分の意志をはっきり伝えた。

▲課題点

- ・事業所では職員数に限りがありマンツーマン対応はできないので、在学中に次のことを身に付けておいてほしい。
☆一人で落ち着いて待つことができる。
☆声掛けに応じて周囲の人と一緒に移動できる。

【就労継続支援B型】

○良い点

- ・休まずに通うことができた。
- ・明るく元気があり、利用者に積極的に話をした。
- ・どの仕事にも指示に素直に応じて取り組んだ。
- ・ほうきの使い方が上手で掃除がとてもうまい。
- ・見本を見て、その通りに作業することができた。
- ・職員が付いていなくても、利用者さんの動きを見て行動できた。

▲課題点

- ・作業の後半は集中力が切れて雑になる。
- ・「終わりました。」を自分から言えなかった。
- ・敬語が使えず、利用者や職員へタメ口で話した。
- ・作業中に私語が多い。

【一般就労】【就労継続支援A型】

○良い点

- ・初めての仕事にも意欲的に取り組み、ここで働きたいという意気込みを感じた。
- ・仕事が丁寧で正確。従業員の作業とほぼ変わりなくできていた。
- ・従業員とのコミュニケーションが良く、かわいがられながら仕事をしていた。
- ・長時間の立ち仕事でも疲れた様子を見せずに取り組んだ。

▲課題点

- ・お客様への「いらっしゃいませ。」の声が小さかった。積極的に言えるとよい。
- ・敬語の使い方、話し方や態度などマナーについての学習をする必要あり。
- ・指示を受け入れず自分流に行うことがある。周囲のアドバイスを素直に受け入れ柔軟な対応が必要。

未来へステップ！

夏の風物詩のひとつ、「ラジオ体操」は学校生活の中でもよく聞こえます。5月の小中学部の運動会の準備体操でも皆でラジオ体操に取り組みました。

普段の朝の運動や体育等の授業でも、あの音楽が流れてくると子供たちも「あっ、あの体操かな？」と体を動かそうとする様子が見られます。室内で気軽にできて、実はたくさん体を動かすことができる「ラジオ体操」は夏季休業中の体力作りにも最適です。

